



# 防災のとびら

東日本大震災から  
8年8か月

石巻市立広瀨小学校防災だより 文責：佐竹  
令和元年11月25日 No.19

## 訓練！協力！白ご飯！



19日に、学校地域合同防災訓練で実施する予定だった防災学習「ポリ袋 DE ごはん」「担架作り」体験を実施しました。校長先生からは、「新たな知識を得る学習にしましょう。」と話があり、全校児童が目標に向かって熱心に取り組みました。体験では、縦割り班の高学年が主体となって進め、「ポリ袋 DE ごはん」のレシピを見ながら、下級生に教えたり、手伝ったりしました。また、学年を超えて友達と相談し、協力して体験する姿は、『自助・共助』そのものだと思います。どちらも、子供たちの防災スキルがアップする良い体験になりました。学習の最後に、松島自然の家の方から、「今回の体験のように、道具がなくても知恵を出すことで乗り切れる。もしもの時に1番大事なのはみんなで協力すること！」と防災だけではなく、日頃の学校生活にもつながる話をいただきました。また、高学年がしっかり下級生をサポートしていることや、下級生も高学年の話を聞いて活動している姿に、学校の温かさが溢れていたと、うれしい言葉もいただきました。さらに、学年を超えた絆が強くなっていくように、指導にあたっていきます。

今年度は、災害により学校地域合同防災訓練が実施できませんでしたが、実りある実践ができているのは、広瀨地区の地域の皆様の力の大きさ、温かさがあるからこそだと感じています。「自分の命は自分で守る」ことができる児童の育成を目指して、学校でも防災教育を続けていきますので、これからも、学校・家庭・地域そして関係機関が一体となって、『未来へつなぐ 私たちの町・広瀨』を合言葉に、カルテットを響かせていきましょう！！ご協力をよろしくお願いいたします。

### <子供たちの感想より>

○わたしはさいがいになったとき、このつくりかたがやくにたつんだなあとおもいました。

(1年 もこさん)

○ごはんがおいしくて、いざというときにそなえて、いきていけるとおもいました。(1年 洸太さん)

○かんたんでできない人でもできるし、おいしいので、もしじしんとかおきてもふくろでつくれてすごくつかえるかなと思いました。(2年 あかりさん)

○ポリ袋で何でも作れるのはすごいなあと思いました。(2年 悠真さん)

○お米をたいて電気が使えないときに、あのお米たきを思い出せばお米をたくことができると思いました。(3年 蓮華さん)

○電気がなくなってもかんたんに色々作れることが分かりました。(3年 瑠璃華さん)

○人をはこぶのが大変でしたが、みんなで協力すると大変ではなかったので、協力はいいなあと思いました。(4年 愛結花さん)

○お米をたくのがはじめてだったから、訓練って重要だと思いました。(4年 碧葉さん)

○ポリ袋でご飯ができることを知らなかったから、もし災害になったらやってみたいです。たんか作りはうまくできて、すごくしょうぶなことが分かりました。(5年 睦翔さん)

○ポリ袋は、かんたんに短い時間できちんとお米もたけておいしかったです。たんかも6年生が乗っても毛布代わりの布がやぶれなくてすごいと思いました。災害が起きてもこれを思い出してがんばりたいです。(5年 凜夢さん)

○1年生や下級生に優しく教えられたのでよかったです。6年生とも協力できたので、本当に災害があっても協力できると思いました。(6年 こころさん)

○縦割りのみんなで協力することができました。あと、ポリ袋で簡単に温かい食事を作れることを知りました。こういう工夫で災害などの時に温かい食事を取るのはいっぱいと思いました。たんかでは最初は持てないと思ったけど、持ち方を変えると簡単にすることができました。(6年 心音さん)

